

エリアリーダーによる1人1台端末を活用した授業公開

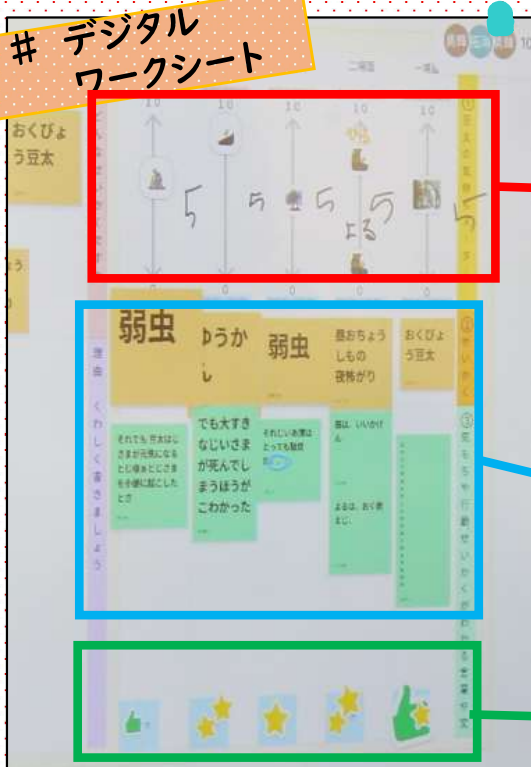


小城市立三里小学校 エリアリーダー 福岡 勇輝 教諭

単元名：「モチモチの木」 小学3年生 国語科

児童は物語の登場人物の性格について、本文や会話文に目を向け、Figjam上に作成されたデジタルワークシートに自分の考えをまとめ、友達と交流する活動に主体的に取り組みました。児童が自分に合ったやり方で取り組めるよう、授業のユニバーサルデザインを意識したICTの活用です。

デジタルワークシート



・気持ちメーター

場面ごとに、主人公の気持ちがプラスに向かっているのか、マイナスに向かっているのか、児童は自分で判断してメーターをセットします。気持ちを表す言葉や表現が思いつかない児童でも、主人公の気持ちを捉えたり、考えを説明したりする際の手助けとなります。

・ふせん

気持ちメーターで示した登場人物の心情や、本文中の言葉（緑色のふせん）を使って、中心人物の性格を言葉（黄色のふせん）で表します。

・スタンプ

友達との交流において、気付きに応じて友達のワークシートにスタンプを押します。



← 「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。
<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

本時の流れ 全9時間 (8/9)

導入

- 1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。
- 2 学習課題を確認する。

めあて:豆太のせいかくについて考えたことを話し合おう

展開

- 3 音読する。
- 4 物語を通して考えた豆太の性格をデジタルワークシート上にまとめ、考えを交流する。

【自力解決】

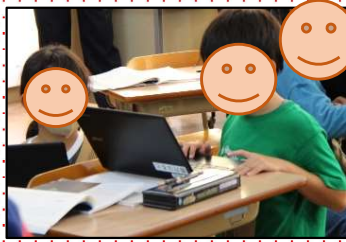
#Figjam上のワークシート



教師と一緒に

キーボードを使って入力する子もいれば、描画機能等を使って矢印で結びつける子、先生に確認しながら進める子など、児童はそれぞれが自分のペースで自分にあったやり方で学びを進めていました。

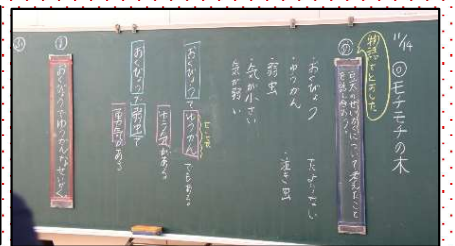
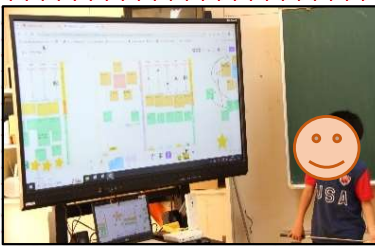
【交流活動】



端末を使って1対1で交流します。交流に当たっては、どうしてそう思ったのか理由を述べることや、自分の考えと似てるところや違うところを探しながら聞く等、交流のポイントについて最初にみんなで共有しました。児童は相手を変えて、たくさんの友達に考えを伝えていました。

- 5 考えを共有し、全体で検討する。

#電子黒板で共有



電子黒板でみんなのワークシートを一覧できるようにし、発表した児童のワークシートを手掛かりにしながら授業のまとめを行いました。

まとめ

- 5 振り返りをする。

まとめと学習の振り返りについて、自分なりの言葉でノートに書き込みました。

